

平成25年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業実施計画(概要)

事業名

- 高齢者の自立支援に向けた身体活動向上のためのポピュレーション・アプローチの方法に関する調査研究事業

事業実施目的

- 本研究事業では、地域在住の高齢者を対象に、3軸の加速度センサー付き体動計を用いて日常生活における身体活動量のモニタリングを行い、評価システムを開発します。また、地域にある薬局で結果フィードバックと薬剤師によるカウンセリングを受けることで、身体活動量の向上のための継続した取り組みが可能なモデルを構築し、その効果を検証します。

事業実施予定期間

- 平成25年5月31日 から 平成26年3月1日 まで

事業内容

- 名古屋市緑区居住の70歳以上（要介護認定者を除く）全員に高齢者機能健診を受診勧奨して受診者のうち、協力の得られた5,178名に活動量計を配布します。活動データは、配布地域の9か所の薬局（スギ薬局）でPCに取り込み、花王株式会社が開発した結果フィードバックを渡すとともに、薬剤師によるカウンセリングを実施します。また、これらのデータを集積して高齢者の特性と比較し、活動状態や変化との関係を分析します。

事業の効果及び活用方法

- 本研究による身体活動増進のためのシステムの効果が明らかとなれば、安価で活動改善に関する介入が可能なポピュレーション・アプローチの新たな手法を全国に紹介できると考えております。このシステムは身体活動や運動機能に関する専門的知識を有さずとも導入が可能であり、効果的な一次予防施策の展開に寄与できる可能性を有します。今後は、このシステムを利用した高齢者の追跡調査を行い、要介護状態の予防に有効であるかを検証していく予定です。

別紙:イメージ図

名古屋市緑区在住の70歳以上
(n = 24,271)

高齢者機能健診の参加者
(n = 5,257)

活動量計の受け取り者
(n = 5,178)

初回来店者

2回来店日以降

【分析課題】

- ・フィードバックの受け取りの有無の関連要因を検討
- ・ベースライン期間と2回来店時の身体活動の変化とその関連要因解析
- ・ベースライン期間と最終来店時(2014年1月31日時点)の身体活動の変化とその関連要因解析

【達成目標】

身体活動や運動機能に関するポピュレーション・アプローチの新たな手法を全国に紹介することができる

- ・ 活動量計の装着
- ・ 日常通りの生活

- ・ 活動量計の装着
- ・ カウンセリングに基づく生活

- ・ データ読み取り
- ・ フィードバックレポートの配布
- ・ カウンセリング
- ・ 目標値の設定

- ・ データ読み取り
- ・ フィードバックレポートの配布
- ・ カウンセリング
- ・ 目標の達成状況に応じたポイント付与